

令和８年度 学校経営方針

墨田区立錦系中学校

校長 和田 浩二

I 教育目標

人権尊重の精神を基調として、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成を目指して、次の教育目標を掲げる。

○基礎学力を身に付け、自ら考える生徒を育てる。【知】

○情操を豊かにし、他を思いやる生徒を育てる。 【徳】

○心身を鍛え、根気強くなしとげる生徒を育てる。【体】

II 錦系中学校が目指すもの

1. 目指す生徒像 ～教育目標の具現化～

「未来への夢や希望をもち、こころざし高く、歩み続ける生徒」

(1) 基礎学力を身に付け、自ら考える生徒

(2) 情操を豊かにし、他を思いやる生徒

(3) 心身を鍛え、根気強く成し遂げる生徒

2. 目指す学校像

「伝統ある名門校としての誇りと進取の気風に満ちた品格のある学校」

(1) わかる喜びとできる楽しさを実感できる学校

(2) 教師と生徒が強い信頼の絆で結ばれ、保護者に信頼される学校

(3) 地域とともに歩み、地域が誇れる学校

3. 目指す教師像

「明るく元気でハートがあって夢を語れる錦系中の教師」

1. 教科指導や直面する教育課題にも対応できる高い専門性のある教師

2. 錦系中学校の教師である誇りと品格をもち、組織的に協働する教師

3. 教育公務員として職責を自覚し、サービスの厳正を図ることができる教師

Ⅲ 令和８年度の重点

① 授業改善とＩＣＴ活用の高度化

改訂版タキソノミーと生成ＡＩの活用：令和２年度からの研究成果を基に、生成ＡＩを活用した授業改善と高次の認知過程を取り入れた授業実践を行う。

個別最適化された学び：５教科でのＡＩ型教材（Qubena、ミライシード等）の活用と、数学科・英語科での習熟度別指導や自由進度学習を推進し、基礎・基本の定着を図る。

探究的・協働的な学びの創出：ＩＣＴ活用により短縮できた時間で、教科等横断的なＳＴＥＡＭ学習や探究的な学習の時間を創出し、協働的な学びを充実させる。

② Apple Distinguished School 2026～2029 への飛躍

アウトプット重視の教育：iPadの標準アプリを活用したレポート・動画作成、プレゼンテーション等、表現活動に重点を置いた授業を展開する。

ADSとしての継続的な発展：2026～2029年の認定継続に向け、デジタルを生かした新しい学びを推進し、「共感力」と「創造力」を育む。

③ 安心して通える学校づくりとインクルーシブ教育の推進

複数担任制と心のケア：複数担任制を基盤とした学級経営を行い、生徒が相談相手を選択できる二者面談「ハートフルウィーク」を実施する。

特別支援教育の充実：令和７年度に新設された自閉症・情緒障害特別支援学級を中心に、インクルーシブな学びの実現と、個別の合理的配慮に基づく指導を徹底する。

不登校支援：校内ＳＳルームをフル活用し、不登校担当教員や学習支援員による段階的な教室復帰支援と学びの保障を行う。

④ キャリア教育と社会参画意識の醸成

「錦中ハローワーク」と探究学習：地域・企業と連携した職場体験や「Inspire High」を活用した探究学習を通じ、主体的・将来的な進路選択能力を養う。

多文化共生と国際理解：外国につながる生徒への日本語指導の充実を図るとともに、互いの文化を尊重し、国際的な視点をもつ生徒を育成する。

⑤ 地域・家庭と歩む開かれた学校運営

コミュニティ・スクールの深化: 学校運営協議会による評価を踏まえた改善に努め、保護者や地域から信頼される学校を目指す。

情報発信の充実: note や学校HP等を活用し、生徒会活動や学校の教育活動を積極的に「見える化」する。

防災教育と地域貢献: 「錦中自主防衛隊」の活動や地域と連携した避難訓練を通じ、地域社会に貢献できる実践力を育成する。

⑥ 教職員の専門性向上と働き方改革

校内研修の充実: 「教員」研修を目標とし、授業公開や指導教諭による模範授業参観を通じて授業力を向上させる。

学校マネジメントの強化: 校務支援部の設置等により校務分掌を再組織し、働き方改革とメンタルヘルスの向上を推進する。